

# ～耳あかについて～

耳垢は外耳道の皮フによって自然と外に送り出されます。

しかし耳そうじなどで外耳道の皮フをかきむしってしまうと、耳垢を押し出す力がにぶります。耳そうじで中までかき出そうとするとかえって耳垢を押し込んでしまい、そのまま耳の奥で耳垢が固くかたまって、耳栓をして暮らしているような状態になることがあります。

少しずつ聞こえづらくなるので、人によっては聴こえていないことに気づかないまま暮らしていることもあるようです。

その一方で、たとえば道でクラクションをならされても気づかないなど、危険な状況を起こしやすくなります。

小さいお子さんの場合、耳の奥に耳垢が溜まってしまうと、外からの音や情報をたくさん聴いて発達していく時期に耳栓をして音を聞きづらくしながら暮らしている状態です。

本人は聴こえていないことに気づけず、お友達に声をかけられても反応しないなどの困りごともありがちです。

さらに耳垢がたまっているときに中耳炎になると、中耳炎の治療に取りかかる前に耳垢を取らなくてはならないため、お子さまの負担も大きくなります。

またシニアの方の場合は、外からの音の刺激が少ないと認知症になりやすくなるとも言われています。

難聴は加齢によっても起こりますが、その上、耳垢によって聞こえづらくなるのはとてももったいないことと言えるでしょう。

日常のお耳の穴のケアは入口の水分をとる程度にとどめ、定期的に耳鼻科で処置してもらうことをおすすめします。